

科目名称:発達心理学Ⅱ					
担当者名:奥田裕紀					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	2年後期	講義	選択	2	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24205413
授業概要: 障害のある子どもを含む幼児、児童の心身の発達および学習の過程について学習する。また、様々な障害のある子どもを含む幼児、児童の理解の方法や、教育に関する心理学的研究の成果や、発達の支援などについても学習する。					
到達目標: 授業概要で示した内容について理解・考察し、説明できることを目標とします。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 発達心理学Ⅰのふりかえり			発達心理学Ⅰの講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと(90)		
第2回 発達障害とは			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第3回 自閉症スペクトラム障害とその援助・学習過程			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第4回 ADHDとその援助・学習過程			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第5回 学習障害および関連する障害とその援助・学習過程			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第6回 知能とは			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第7回 知的障害とその援助・学習過程			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第8回 胎児期の発達と学習過程			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第9回 新生児期の発達と学習過程			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第10回 乳幼児期の発達と学習過程(乳児期)			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第11回 乳幼児期の発達と学習過程(幼児期)			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第12回 児童期の発達と学習過程(基礎)			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第13回 児童期の発達と学習過程(展開)			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第14回 青年期から高齢期の発達と学習過程			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第15回 まとめ			学習内容について振り返り、まとめておくこと(120)		
履修に必要な予備知識や技能: 発達心理学Ⅰの内容を再確認し、大学図書館などで、発達心理学Ⅱに関する図書を選択し、読んでおくこと。履修条件となっている科目: 発達心理学Ⅰ					
課題に対するフィードバック: 授業内で行った課題については、可能な限り当該授業、次回授業などで解説します。					
評価方法・基準: 講義への取り組みの状況(20%)、定期試験(80%)等に基づいて総合的に評価します。					
教科書: 教科書は、特に指定しませんが、資料配布などをします。参考書: 「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館)					
備考: 本科目は、教職課程などに関連する科目であるため、シラバスの基本的な内容を維持します。必要に応じて、Google Classroomやyoutubeなどを用いることがあります。					
実務経験の内容・期間: なし					